

第22回

ヤマト福祉財団小倉昌男賞
募 集



正 賞：雨宮 淳氏作 ブロンズ像「愛」

副 賞：賞金 100万円

募集期間：2021年6月1日～8月31日

公益財団法人ヤマト福祉財団

9 選考委員

次の各氏が選考委員として選考にあたります。

今野 由梨 (ダイヤル・サービス株式会社 代表取締役社長)
渡辺 修 (元環境事務次官)
藤井 克徳 (きょうされん 専務理事)

山内 雅喜 (公益財団法人ヤマト福祉財団 理事長)
森下 明利 (ヤマトグループ企業労働組合連合会 会長)

(順不同 敬称略)

10 受賞者の発表

受賞者は、2021年10月末に発表します。

11 賞の贈呈式

2021年12月8日(水)、東京都千代田区「一般社団法人日本工業倶楽部」において贈呈式ならびに受賞祝賀会を開催します。

「ヤマト福祉財団小倉昌男賞」は、これまで次の方々を受賞されました。

第1回 2000年度

- 伊藤 静美氏 (社会福祉法人 一妻会・妻の郷 常任理事)
- 金子 鮎子氏 (株式会社ストローク 代表取締役)

第2回 2001年度

- 日浦美智江氏 (社会福祉法人 訪問の家 理事長)
- 伊沢 雄一氏 (社会福祉法人 はらからの家福祉会 施設長)

第3回 2002年度

- 小島 靖子氏 ((有) ヴィ王子 取締役・スワンパークリー十条店 店長)
- 武田 元氏 (はらから会 会長・知的障害者通所授産施設「蔵王すずしろ」 施設長)

第4回 2003年度

- 谷口奈保子氏 (NPO法人 ばれっと 理事長)
- 永山 盛秀氏 (「わんからセンター」 相談員)

第5回 2004年度

- 天野 貴彦氏 (町田市障がい者就労・生活支援センターらいむ センター長)
- 松村 茂利氏 (大阪うどん「つくし」 店長)
- 秋元波留夫氏 (金沢医科大学 客員教授、日本精神衛生会 会長、日本精神保健政策学会 会長)
- 調 一興氏 (社会福祉法人 東京コロナおよび社団法人 ゼンコロ 名誉会長)

第6回 2005年度

- 太田 勇氏 (調布市社会福祉事業団 知的障害者通所授産施設すまいる 施設長)
- 宮崎 潔氏 (社団法人 愛知県セルブセンター 名古屋市障害者雇用支援センター 所長)

第7回 2006年度

- 亀井 勝氏 (社会福祉法人 ひびき福祉会 理事長)
- 高橋 昌巳氏 (社会福祉法人 桜雲会 理事長)

第8回 2007年度

- 山田 昭義氏 (社会福祉法人 AJU自立の家 常務理事)
- 西澤 心氏 (社会福祉法人 まいづる福祉会 ワークショップほのぼの屋 施設長)
- 丸山 一郎氏 (埼玉県立大学 保健医療福祉学部社会福祉学科 教授)

第9回 2008年度

- 山下 ヤス子氏 (社会福祉法人 まほろば福祉会 理事長)
- 新堂 薫氏 (社会福祉法人 武蔵野千川福祉会チャレンジャー 施設長)

第10回 2009年度

- 大場 俊孝氏 (特定非営利活動法人 栗原市障害者就労支援センター「NPOステップアップ」 理事長、株式会社 大場製作所 代表取締役)
- 中崎 ひとみ氏 (社会福祉法人共生シンフォニー 常務理事、就労継続支援A型事業所「がんばカンパニー」 所長)

第11回 2010年度

- 佐治 リエ子氏 (社会福祉法人 さっぽろひかり福祉会 統括管理者)
- 北山 守典氏 (NPO法人ワークネット 理事・事務局長)

第12回 2011年度

- 清田 廣氏 (社団法人 大阪聴力障害者協会 副会長)
- 柴田 智宏氏 (社会福祉法人 蒜山慶光園 ワークスひろげん 理事・所長)

第13回 2012年度

- 楠元 洋子氏 (社会福祉法人 キャンパスの会 理事長)
- 堀込真理子氏 (社会福祉法人 東京コロナー IT事業本部 トーコロ情報処理センター 職能開発室 所長)

第14回 2013年度

- 風間美代子氏 (特定非営利活動法人 多摩草むらの会 代表理事)
- 熊田 芳江氏 (社会福祉法人 こころん 常務理事・施設長)

第15回 2014年度

- 宮嶋 望氏 (農事組合法人 共働学舎新得農場 代表、特定非営利法人 共働学舎 副理事長)
- 佐伯 康人氏 (株式会社 パーソナルアシスタント青空 代表取締役)

第16回 2015年度

- 西谷久美子氏 (社会福祉法人 はる 常務理事)
- 林 博文氏 (特定非営利活動法人 ピアファーム 理事長)
- 花田 春兆氏 (俳人・特定非営利活動法人 日本障害者協議会 顧問)

第17回 2016年度

- 奥脇 学氏 (有限会社 奥進システム 代表取締役、公益社団法人全国重度障害者雇用事業所協会 常務理事)
- 竹内 昌彦氏 (社会福祉法人岡山ライトハウス 理事長)

第18回 2017年度

- 山内 民興氏 (社会福祉法人 ぶろぼの 理事長)
- 松浦 一樹氏 (特定非営利活動法人 ENDEAVOR EVOLUTION 理事長兼事業長 株式会社 REGEND 代表取締役)

第19回 2018年度

- 上野 容子氏 (社会福祉法人豊心会 理事長)
- 村上 和子氏 (社会福祉法人シンフォニー 理事長)

第20回 2019年度

- 田川 精二氏 (特定非営利活動法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク 理事長)
- 廣田 しづえ氏 (公益社団法人大阪聴力障害者協会 副会長)

第21回 2020年度

- 奥西 利江氏 (社会福祉法人維雅幸育会 統括管理者、ふっくりあモオンマル 管理者)
- 佐藤 春光氏 (社会福祉法人ホープ 常務理事、フロンティア 統括施設長)

「ヤマト福祉財団小倉昌男賞」
候補者推薦書の送付先及び
お問合せ先

〒104-0061 東京都中央区銀座2-12-18 ヤマト銀座ビル7F
TEL. 03-3248-0691 FAX. 03-3542-5165
<https://www.yamato-fukushi.jp/>

*推薦書(別紙)の用紙が足りない場合は、コピーをするか(公財)ヤマト福祉財団までご請求下さい。

障がい者の自立と社会参加を支援する—— 公益財団法人ヤマト福祉財団



写真は第21回ヤマト福祉財団小倉昌男賞の贈呈式(2020年12月3日)。受賞者は、佐藤春光氏(写真前列左から2番目)、奥西利江氏(左から3番目)。

ヤマト福祉財団は、こんな財団です。

(公財)ヤマト福祉財団は、心身に障がいのある人々の「自立」と「社会参加」を支援することを目的に、1993年9月、ヤマト運輸株式会社の元社長・会長を歴任し、クロネコヤマトの宅急便を作り上げた故・小倉昌男氏(当財団初代理事長)の個人資産の寄付により創設されました。

財団の母体となっているのは、ヤマトホールディングス株式会社とそのグループ会社、ヤマトグループ企業労働組合連合会、各グループ会社の社員と労働組合員、約23万名です。法人、個人の賛助会員として又、労働組合のカンパ活動として資金面の援助を続けながら、日常の財団活動を多岐に渡って支えています。なお、2021年3月末現在の財団の基本財産は約60億円となっています。

ヤマトグループの「企業姿勢」のなかに「地域社会から信頼される企業」として「ヤマトグループは、地域の一員として信頼される事業活動を行うとともに、障がいのある方の自立を願い、応援します。」と障がい者支援が明記されています。

ヤマト福祉財団は、こんな事業を展開しています。

- 障がい者福祉のための各種事業への助成=障がいがある学生たちへの奨学金、障がい者の自立と社会参加に関する事業への助成などを行っています。
- 障がい者の働く場「パワーアップフォーラム」の開催=障がい者の働く場や施設・事業所のあり方を実践している講師の方々と考え、地域での取組を交えたフォーラムを開催します。
- 「ヤマト福祉財団小倉昌男賞」の贈呈=障がい者の自立支援に、著しく貢献した方々を顕彰するこの賞も事業活動の一つです。
- 障がい者が地域で共生するために必要な仕事創りの一環として、ヤマト運輸のクロネコDM便配達業務のあっせんなど、具体的な仕事の提供を行っています。
- 「夢へのかけ橋」実践塾=障がい者の工賃の飛躍的向上を目的として、小倉昌男賞受賞者の指導力や実行力を活かし、有志とともに障がい者の働く環境や能力を革新的に高めて、自立への道筋を作ります。
- 「スワンベーカーリー」のチェーン店展開=障がい者の働く場づくりを目的に設立されたパンの店「スワンベーカーリー」。全国にその輪を広げています。

※詳しくは(公財)ヤマト福祉財団のホームページをご覧ください。

<https://www.yamato-fukushi.jp/>

つたわる
ギフト
読みやすさを追求した書体

VEGETABLE
OIL INK